

## 伊平屋・伊是名間の定期航路について / 津田隆

伊平屋村では空港建設構想が持ち上がって 48 年経ちました。村民の期待はいまだに実現されず、観光、経済、アクセスの不便さが不満につながっています。私が模索し、尋ね歩いた結果、行き着いた答えが、新たな航送と経済圏の確立です。

新たな定期航路の構想として、一つ目伊平屋・伊是名 15 キロ間をフェリーで結ぶ三点運行航送です。二つ目、内花・具志川島・野甫の新たな定期航路の航送案です。この二つの航送をすることで、両村の連帯が高まり地域経済の活性化につながると考えています。

具志川島は現在無人島ですが、有人島を目指すにしても、伊是名・伊平屋村が心一つにしないと実現しません。まずは伊平屋村から兄弟島伊是名村にこの構想をお伝えし、協力を求めていきたいと考えていますが、いかがですか。

■議長（金城信光） 答弁、観光交通課長。

■上江洲清彦観光交通課長 2 番 津田議員の質問にお答えします。去る 5 月 2 日、臨時議会終了後、議員の先生方全員に意見を伺った結果、「伊是名・伊平屋間の定期航路などは検討してもらいたい」という意見をいただいたことを受けて、総合事務局に、そういうことが可能なのかというところを確認しております。その際に、航路補助の対象要件といたしまして、補助対象は「唯一かつ赤字の航路」であることは、去る 6 月の定例議会でも説明したとおりとなっております。それ以外にも要件の中の一つといたしまして、「関係住民のほか、郵便・信書便又は生活必需品及び主要物資等を輸送していること」が要件設定に記されていることから、伊是名・伊平屋間の定期航路は現状厳しいという状況になっております。

また、津田議員のおっしゃるように、今回、新たな提案といたしまして、「具志川島を經由」というご質問がありました。具志川島は無人島並びに伊是名村の行政区であるということで、伊是名村側においても「現状、村として入島に対しての許可申請や受付、許可証等を出していない」と、こちらは村のホームページにも掲載されておりまして、そういう事案もありますので、その部分から考察するに、現状のハードルは高いことが想定されます。

今後は、航路を運航する事業者が現れるのか、あとは例えば事業者の採算性が確保できない場合、これは相手あつてのことですので伊是名村との協議も入ると思うんですけども、村が赤字部分を補填することが可能なのかとか、また、具志川島への入島が可能なのかなど村内外の状況も<sup>かんが</sup>鑑みながら、津田議員も常々おっしゃっていたとおり、相手があつてのことです。まずは可能であれば、伊是名村と行政レベルでの話し合いの場を設けて、可能性を検討してみたいと考えています。以上です。

■議長（金城信光） 津田議員。

■2番 津田隆議員 ハードルが高いのは、多少感じています。僕の中でも、総合事務局と話した時に、最初は難色を示していましたが、「じゃあ、橋もできない、飛行機もできない。いつになったら伊是名と伊平屋村は幸せになれるのか」と、電話ですけれど、地図を見てもらって、議論した結果、「両村が同じ方向に向かうなら、話を伺います」と。そこで止まっています。具志川島をなぜ入れたかと言った

ら、いろいろ調べて、今は無人島だけど、有人島になることによって方向性がだいぶ変わってくるだろうと、そういう話も伺っています。

だから、ハードルは高いんだけど、やってみなければ分からないというところもあります。最近、多くの人が緑島に行っているいろいろ耳に入っています。緑島も結構天気が悪いし、アクセスも悪いところだったんだけど、観光に関する船とか飛行機とか、国が観光で飯食うところは国策でやってくれと、そういう違いはあります。そこでやっぱり伊江島も船を4便以上運航することによって観光が満たされてきたと。ただ、現在は少し足並みが止まっているんですけども、それを伊江島に聞いたら、自然の少なさと捉えております。

つなぐことによって今の便数で4便になるわけですね。緑島も船はだいたい50分ぐらいで運航しているそうです。やっぱり船の便も多いです。ネットでの情報ですけども、年間30万とか40万という人が往来していると報道されています。冬場は結構荒くて、伊平屋よりも海の状況は悪いと。いろいろ調べた結果、伊平屋は、僕から見たら自然がいっぱいあるし、まだ伝えられていない部分があるから、この4便がうまくいけば、1時間という時間も問題なくクリアすると考えています。

そういうことから、もう空港は諦めるとか、やめなさいじゃなくて、そこから先にいったほうがお客さんも来て、空港建設にもつながるんじゃないかなと。

去年からいろんな人に、伊是名の有志にも手紙を書いたり聞いたりすると、このほうが一番いいなという手紙をもらったりはしています。

難しいからといって諦めるんじゃないなくて、まず話をしてみないとみえないわけですよ。だからなんとかして伊是名村と話をして、同じ方向を見て、国にいろんな角度から交渉してみたいなど。何年かかるかは分からないけども、どんどんスピードをあげてやれば、伊平屋にも伊江島みたいにいっぱいお客さんが来ると考えています。産業、経済へもどんどん広がっていくと思います。

やっぱりそれは港からのアクセスが一番大事だと思っています。伊是名が伊江島と 20 分の差です。20 分の差でお客さんが来ないのかなと思ったけど、時間じゃなくて便数だという考えに至りました。お客さんに合った便数が、伊是名村と、もし 4 便、船ではつなぐんですけど、同じ 2 便だけでも時間差で結ぶと、2 時間だったり 2 時間半だったり、向こうから船が出航できるんじゃないかなと。

考え方としてはいろいろあると思います。それはずっと先の話ですけども、まずはそのテーブルについて、先を見つめることが一番先にやるべきことじゃないかなと考えています。伊是名村と一日も早く話ができる機会を設けてほしいと考えています。いかがですか。

■議長（金城信光） 答弁、上江洲清彦観光交通課長。

■上江洲清彦観光交通課長 津田議員のご質問にお答えします。先ほども少し、最後のほうで触れたんですけども、相手があつてのことというところで、離島航路の問題等もあると。ただ、津田議員のおっしゃるように、一応は、一度は文書をもって投げてみて、相手の伊是名村がどういう回答をするかっていうのも踏まえながら、検討していければと考えております。

補足ですが、離島航路の話が先ほどから出ているんですけども、「離島航路は離島に暮らす住民にとって、日常生活における移動や生活必需品等の輸送のために不可欠な交通手段であり、その確保・維持に係る地域の取り組みを支援」ということでございます。したがって、ここの文言の中には残念ながら観光客というところは明記されておられません。ただ、実際、昨日もお話したように、観光客の入りがないと当然補助の厳しい状況もございますので、そのへんも天秤をかけながら検討していければと考えています。以上です。

■議長（金城信光） 津田議員。

■2番 津田隆議員 一番のメリットは、この2点の一つにしてもつなげれば船は2便でも4便になり、経済とかいろんな面で変わってくると思います。

法律は法律でも交渉の仕方が変わってくるんじゃないかなという考えも少しあります。国に、具志川島のことで、「有人島にすればどうなるか」と聞いたら、やっぱり「可能性はあるだろう」と言われています。これはあくまで電話ですけど、正確なものではないけども、自分なりに動いて、なんとか情報を得ようとしています。

だけどやっぱり、これは行政と共に動かないと、僕がいくら電話してもただの話し合いにしかありません。だからぜひ、突破して伊是名と話し合っって同じ方向を向いてみたいと思いますから、今後もよろしくお願いします。